

平成 17 年 (三) 第 9 号 遺伝子組換え稲の作付け禁止等仮処分事件

債権者 山田稔ほか 11 名

債務者 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構

証拠説明書 (1)

平成 16 年 7 月 14 日

新潟地方裁判所高田支部 民事部保全係 御中

債務者訴訟代理人弁護士 畑 中 鐵 丸



号証	標目	原本・写 の別	作成年月 日	作成者	立証趣旨	備考
乙 1	農業・生物系 特定産業技術 研究機構の概 要	写し	平成 15 年 2 月頃	債務者	債務者の概要	
乙 2	平成 16 年度 地域別農業研 究成果情報	写し	平成 16 年 頃	各地域 農業研究セ ンター	債務者の研究成果	
乙 3	遺伝子組み換 え生物等の使 用等の規制に よる生物の多 様性の確保に 関する法律	写し	平成 17 年 6 月 28 日	国	「遺伝子組み換え生物等の使 用等の規制による生物の多様 性の確保に関する法律」の条 文	
乙 4	平成 17 年度に おける第 1 種 使用規程の承	写し	平成 17 年 4 月 12 日	農林水産省 農林水産技 術会議事務	平成 17 年度における第 1 種使 用規程の承認を受けた組換え 作物に係る栽培実験の留意点	

証拠説明書

	認を受けた組換え作物に係る栽培実験の留意点について			局長	について	
乙5	地元説明活動の概要	写し	平成17年 6月23日	債務者	債務者の地元に対する説明活動の内容	
乙6	農業要覧 2004 抜粋記事	写し	平成16年 頃	日本植物防疫協会	イモチ病がわが国の農業に深刻な被害をもたらしていること	
乙7	農薬工業会 年次別用途別 出荷実績表	写し	平成16年 頃	農業工業会	イモチ病対策にわが国の農業が多額なコストを負担していること	
乙8	農業要覧 (2004)	写し	平成16年 頃	日本植物防疫協会	同上	
乙9	「花粉飛散による交雑の可能性について」と題する書面	写し	平成17年 7月5日	京都大学農学修士 矢頭治	疎甲13号証に対する矢頭氏の補充レポート	
乙10	(独) 農業技術研究機構中期目標	写し	平成13年 4月頃	債務者	債務者の活動内容	
乙11	「国家的・社会的課題に対応した研究開発の重点化」と題する書面	写し	平成17年 7月7日	首相官邸	本実験が国家戦略として重要性を持つべきこと	
乙12	バイオテクノロジー戦略大綱	写し	平成14年 12月6日	BT(バイオテクノロジー)戦略会議	本実験が国家戦略として重要であること	

乙 13	有機農業に関する基礎基準 2000	写し	平成10年 2月6日	日本有機農業研究会	遺伝子組換えに反対の立場を取るグループですら、遺伝子組換え技術を用いることを許容していること 遺伝子組換え技術が社会において受け入れていること
乙 14	「遺伝子組み換えの勉強会」と題する書面	原本	平成17年 6月頃	新潟遺伝子組み換えイネいらない連絡会	遺伝子組み換えに反対するグループの主義ないし主張が、遺伝子組換えを「悪魔の技術」と称するなど、科学的根拠希薄な理論に依拠していること
乙 15	「Step up」と題するパンフレット	原本	平成16年 2月	社団法人農林水産先端技術産業振興センター (STAFF)	遺伝子組換えが確立された技術として、社会に有用性を認められ受け入れられていること
乙 16	「Do you know?」と題するパンフレット	原本	平成14年 3月	同上	遺伝子組換え技術の安全性・有用性
乙 17	中央農業総合研究センター ニュース NO. 17	原本	平成17年 6月	債務者 中央農業総合研究センター	本実験の重要性・必要性
乙 18	「遺伝子組換え食品について知ってください」と題するパンフレット	原本	不明	サンディエゴ分子農業センター	遺伝子組換え技術の安全性
乙 19	地元説明活動の概要	写し	平成17年 7月6日	債務者	債務者の情報開示に向けた活動の経緯
乙 20 ～	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ申請書	写し	平成16年 11月17日	債務者	本実験が、カルタヘナ法に準拠し、学識経験者の意見もふまえ、適法に承認されたもの

29	等の概要及び 学識経験者簿 意見				であること	
乙 30	「遺伝子組換 え植物につい て」と題する 書面	写し	平成 17 年 7 月 13 日	日本植物細胞分子生物 学会	日本植物細胞分子生物学会が 科学的な観点から遺伝子組換 え技術の有用性を認識、当該 技術の発展と普及を支持して いること	
乙 31	欠番扱い（お って）					
乙 32	Food science 記事	写し	平成 17 年 4 月 11 日	口経 BP	遺伝子組換え技術の誤解を憂 慮し、支持するマスコミの論 調の存在	
乙 33	同上	写し	平成 17 年 7 月 6 日	同上	同上	
乙 34	新潟地裁高田 支部民事部宛 意見文書	写し	平成 17 年 7 月 12 日	独立行政法 人農業環境 技術研究所 生物環境安 全部長 岡三徳	他の独立行政法人も本仮処分 発令による本実験への悪影響 という事態を憂慮し、発令の 却下を求めている事実	
乙 35	新潟地裁高田 支部民事部宛 意見文書	原本	平成 17 年 7 月 12 日	バイオ作物 懇話会代表 長友勝利	農業従事者の団体も本仮処分 発令による本実験への悪影響 という事態を憂慮し、発令の 却下を求めている事実	
乙 36	「バイオ作物 懇話会」と題 する書面	写し	不明	バイオ作物 懇話会	バイオ作物懇話会の概要	
乙 37	GM イネ NG 裁判 記事（プログ）	写し	平成 17 年 6 月 23 日 から 7 月 6 日	GM イネ NG 裁 判	債権者が風評被害を自招して いる事実	

乙 38	新潟地裁高田 支部宛 本件仮処分申 立の却下を求 める要請書	原本	平成17年 7月11日	東京大学大 学院農学生 命科学研究 科 西澤直子	多くの遺伝子組換え技術に関 する研究者が、本仮処分発令 による本実験への悪影響とい う事態を憂慮し、発令の却下 を求めている事実	
乙 39	同上	同上	同上	東京大学大 学院農学生 命科学研究 科助教授 堀内裕之	同上	
乙 40	同上	同上	平成17年 7月12日	東京大学生 物生産工学 研究センタ ー 藤原徹	同上	
乙 41	同上	同上	同上	東京大学農 学生命科学 研究科 小郷裕子 高橋道子 青山貴紘 野副朋子	同上	
乙 42	同上	同上	同上	岡山大学資 源生物科学 研究所 馬建鋒	同上	
乙 43	同上	同上	同上	東京大学大 学院農学生 命科学研究 科助教授 日高真誠	同上	
乙 44	同上	同上	同上	東京大学大 学院農学生 命科学研究 科教授	同上	

				太田明德	
乙 45	同上	同上	同上	東京大学・生物生産工学 研究センター 一教授 山根久和	同上
乙 46	同上	同上	同上	岡山大学資源生物科学 研究所 佐々木孝行	同上
乙 47	同上	同上	同上	東京大学大学院・農学生命科学研究 科応用生命化学専攻助 教授 鈴木義人	同上
乙 48	同上	同上	同上	東京大学大学院農学生命科学研究 科 井上晴彦 和田泰明 増田寛志 小林高範 鈴木基史	同上
乙 49	同上	同上	同上	大学評価学位授与機構 教授/東京大学名誉教授 森敏	同上
乙 50	同上	同上	同上	奈良先端科学技術大学院 院大学遺伝	同上

				子教育研究センター 助教授 小泉望		
乙 51	同上	同上	同上	大阪大学大学院理学研究科教授 寺島一郎	同上	
乙 52	同上	同上	平成17年 7月11日	東北大学・大学院農学研究科応用生命科学専攻教授 山谷知行	同上	
乙 53	同上	同上	同上	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授 福田裕穂	同上	
乙 54	同上	同上	平成17年 7月12日	東北大学大学院農学研究科教授 鳥山鉄哉	同上	
乙 55	同上	同上	平成17年 7月頃	園芸学会評議員会有志計10名	同上	
乙 56	同上	同上	平成17年 7月12日	筑波大学大学院生命環境科学研究科教授 西村敏夫	同上	
乙 57	同上	同上	平成17年 7月13日	東北大学大学院農学研究科教授	同上	

				西尾剛		
乙 58	同上	同上	平成17年 7月11日	日本育種学 会会長以下 計49名	同上	
乙 59	同上	同上	平成17年 7月12日	新潟大学 農学部 渡邊剛志	同上	
乙 60	同上	同上	同上	日本遺伝子 学会会長 石和貞男	同上	
乙 61	同上	同上	同上	新潟大学 自然科学系 三ツ井敏明	同上	
乙 62	同上	同上	同上	新潟大学 農学部応用 生物化学科 助教授 城斗志夫	同上	
乙 63	同上	同上	同上	新潟大学 自然科学系 生命・食料科 学系列 岩崎俊介	同上	
乙 64	同上	同上	同上	新潟大学 自然科学系 和田 三ツ井敏明	同上	
乙 65	同上	同上	同上	新潟大学 自然科学系 助教授 加藤朗	同上	
乙 66	同上	同上	同上	新潟大学大 学院自然科 学研究科	同上	

				伊藤紀美子	
乙 67	同上	同上	同上	新潟大学関 係者 高木綾子	同上
乙 68	同上	同上	同上	新潟大学関 係者 原玲子	同上
乙 69	同上	同上	同上	新潟大学関 係者 斎藤明 斎藤則子	同上
乙 70	同上	同上	同上	新潟大学関 係者 三上陽子	同上
乙 71	同上	原本	同上	東京大学 生物生産工 学研究セン ター 教授 山口五十磨	同上
乙 72	同上	写し	同上	(独)理化学 研究所植物 科学研究セ ンター センター長 篠崎 雄	同上
乙 73	同上	同上	同上	東京大学大 学院 生命 科学研究科 統合生命専 攻教授 佐藤文彦	同上
乙 74	同上	同上	同上	岡山県生物 科学総合研 究所所長	同上

				岩淵雅樹	
乙 75	同上	同上	同上	日本生物細胞分子生物学会会長 森川弘道	同上
乙 76	同上	同上	同上	筑波大学大学院生命環境科学研究科生命産業科学専攻助教授 小野道之	同上
乙 77	同上	同上	平成17年 7月11日	神戸大学遺伝子実験センター教授 大野清春	同上
乙 78	同上	同上	平成17年 7月12日	石川県立大学生物資源工学研究所教授 鳥田多喜子	同上
乙 79	同上	同上	同上	筑波大学大学院生命環境科学研究科生命産業科学専攻教授 渡邊和男	同上
乙 80	同上	同上	同上	筑波大学大学院生命環境科学研究科生命産業科学専攻	同上

				専任講師 溝口剛	
乙 81	同上	同上	同上	筑波大学大 学院生命環 境科学研究 科生物圏資 源科学専攻 教授 江面浩	同上
乙 82	同上	同上	同上	筑波大学大 学院生命環 境科学研究 科構造生物 科学専攻 専任講師 菊池彰	同上
乙 83	同上	同上	同上	筑波大学大 学院生命環 境科学研究 科情報生物 科学専攻教 授 鎌田博	同上
乙 84	同上	同上	同上	新潟大学 理学部 菊山宗弘	同上
乙 85	同上	同上	同上	新潟医療福 祉大学健康 栄養学科特 定教授 堀田康雄	同上
乙 86	同上	同上	同上	京都大学教 授 山田利昭	同上

乙 87	同上	同上	同上	長岡技術科学大学 生物系教官 有志計12名	同上	
乙 88	同上	同上	同上	東京大学大学院理学系 研究科生物科学専攻 教授 中野明彦 助教授 上野貴志 東山哲也	同上	
乙 89	同上	同上	同上	東京大学大学院農学生 命化学科 草場信	同上	
乙 90	同上	同上	同上	(独)農業環境技術研究所生物環境 安全部組換え体チーム 芝池博幸	同上	
乙 91	日本遺伝学会 HP記事	写し	平成17年 7月	日本遺伝学会	日本遺伝学会の概要	
乙 92	新潟地裁高田 支部民事部宛 意見文書	写し	平成17年 7月12日	日本遺伝学会会長 石和貞男	日本遺伝学会が、本仮処分発令による本実験への悪影響という事態を憂慮し、発令の却下を求めている事実	
乙 93	日本育種学会 HP記事	写し	平成17年 7月12日	日本育種学会	日本育種学会の概要	
乙 94	新潟地裁高田 支部民事部宛 意見文書	写し	平成17年 7月11日	日本育種学会会長 喜多村啓介	日本育種学会が本仮処分発令による本実験への悪影響という事態を憂慮し、発令の却下を求めている事実	

乙 95	新潟地裁高田 支部宛 本件仮処分申 立の却下を求 める要請書	写し	平成 17 年 7 月 11 日	上越市議会 議員 古澤弘	上越市議会の議員も、本仮処 分発令による本実験への悪影 響という事態を憂慮し、発令 の却下を求めている事実
乙 96	「STAFF の概 要」と題する 文書	写し	平成 17 年 7 月 12 日	STAFF 社団法人農 林水産先端 技術産業振 興センター	STAFF 社団法人農林水産先端技術産 業振興センターの概要
乙 97	新潟地裁高田 支部民事部宛 意見文書	写し	平成 17 年 7 月 13 日	社団法人農 林水産先端 技術産業振 興センター 理事長 岩元睦夫	社団法人農林水産先端技術産 業振興センターが本仮処分発 令による本実験への悪影響と いう事態を憂慮し、発令の却 下を求めている事実
乙 98	新潟地裁高田 支部民事部宛 意見文書	写し	平成 17 年 7 月 12 日	財団法人バ イオインダ ストリー協 会常務理事 炭田精進	(財) バイオインダストリー 協会が本仮処分発令による 本実験への悪影響という事態 を憂慮し、発令の却下を求め ている事実
乙 99	新潟地裁高田 支部宛 本件仮処分申 立の却下を求 める要請書	写し	平成 17 年 7 月 12 日	新潟薬科大 学応用生命 科学部教授 理学博士 中谷一泰	本件仮処分が発令された場合 の問題を懸念する学会の意見 の存在
乙 100	同上	写し	同上	新潟薬科大 学応用生命 科学部学部 長教授 高木正道	多くの遺伝子組換え技術に関 する研究者が、本仮処分発令 による本実験への悪影響とい う事態を憂慮し、発令の却下 を求めている事実
乙 101	同上	写し	同上	新潟薬科大 学応用生命 科学部農学 博士	同上

				高久洋暁		
乙 102	同上	写し	同上	新潟薬科大学 応用生命科学部 農学博士 小森高久	同上	
乙 103	同上	写し	同上	新潟薬科大学 応用生命科学部 農学博士 脇坂直樹	同上	